

ティ・シー・ケイ株式会社への事業承継投資実行

— 創業者一族の保有する株式の取得による事業承継支援事例 —

AJ キャピタル株式会社

<http://www.ajcap.co.jp/>

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：谷川 啓、本店：東京都千代田区）と、日本アジア投資株式会社（代表取締役社長：下村 哲朗、本社：東京都千代田区、以下「JAIC」）が共同設立したファンド運営会社である AJ キャピタル株式会社（以下「当社」）は、無限責任組合員として運営する事業承継ファンド「サクセッション1号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）が出資する持株会社を通じて、半導体関連メンテナンス事業及びアウトソーシング事業を行う、ティ・シー・ケイ株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役：後藤 満則、以下「T・C・K」）の全株式を創業者一族より取得し、事業と経営の承継を完了致しました。

今回の投資が、当ファンドにとって第5号案件となります。

当ファンドが事業と経営を承継した T・C・K は、代表取締役である後藤氏が、前職での知見・ネットワークを活かし 1993 年に設立した会社です。設立当初は半導体関連メンテナンス事業を主業として経営しておりましたが、外部環境の変化に対応していく中で、アウトソーシング事業も手掛け、近年は事業全体に対する同事業の比率が高まっており、斯業界を代表する企業と良好な取引関係を築いております。安定した経営を続けております一方で、これ以上の業容拡大には人的リソースが不足しているという課題を感じていたこと、また同氏も次世代への承継を検討し始めていたことから、当社より当ファンドに株式を譲渡することで、管理面を強化しつつ、現在の企業体を維持・発展そして成長していく形での承継スキームを提案し、今般の投資実行に至ったものです。

熊本県内では、今後も国内外の半導体関連企業による工場の増設・新設が計画されており、T・C・K の提供するサービスは、地域にとっても更に重要性を増すものになると当社は考えており、今回の承継スキームにより、T・C・K が課題とする更なる成長に向けた内部管理体制構築、採用活動の強化及びその後の人材育成体制の拡充などをサポートし、あおぞら銀行並びに JAIC の有する顧客基盤を活用した支援を併せて実施し、次世代への円滑な事業承継を進めてまいります。

当社は全国の地域金融機関と連携し、従来の投資ファンドではあまり投資対象として検討しなかった、企業価値で 10 億円未満のスマールキャップゾーンを投資ターゲットとする事業承継ファンドを運営しております。今後も、地域経済の核となる中小企業の事業承継を、当ファンドを活用して支援し、円滑な事業承継を推進することを通じて、地域創生や地域活性化に貢献し我が国経済の発展に寄与していく所存です。

<T・C・Kについて>

商号	ティ・シー・ケイ株式会社
所在地	熊本県熊本市北区武蔵ヶ丘一丁目5番35号
代表取締役	後藤 満則
創業	1993年
資本金	10百万円
事業内容	半導体製造装置・FPD製造分野のメンテナンス及びアウトソーシング

<当社について>

名称	AJ キャピタル株式会社
所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
代表取締役社長	小林 正行
設立年月日	2018年4月24日
資本金	20百万円（含む資本準備金）
株主構成	あおぞら銀行 50%、日本アジア投資 50%

<当ファンドについて>

ファンド名称	サクセッション1号投資事業有限責任組合 (英文表記 Succession Investment Limited Partnership, I)
所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
ファンド総額	30億円
ファンド設立日	2017年6月26日
無限責任組合員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、日本アジア投資、愛媛銀行、きらやか銀行、東和銀行、 鳥取銀行、富山銀行、北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、他金融法 人、F P G
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

以 上